

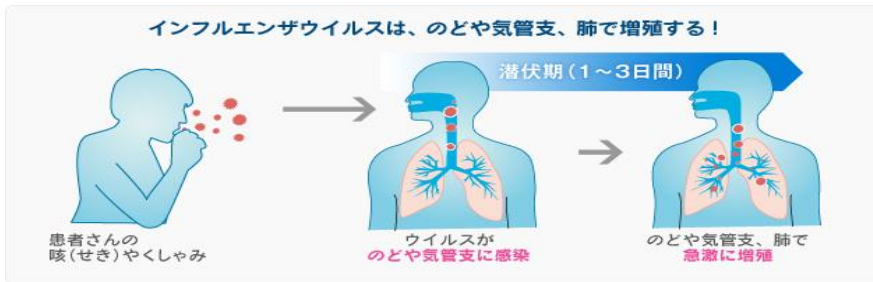
感染対策！インフルエンザに注意しよう！！

インフルエンザは、インフルエンザウイルスがのどや気管支、肺で感染・増殖することによって発症する病気です。インフルエンザによる死亡者は65歳以上の高齢者が大部分を占めているといわれています。

インフルエンザの流行時期は？

季節性のインフルエンザは、例年11～12月頃に流行が始まり、1～3月にピークを迎えます。ワクチン接種を行っていないこの時期からの発症は、流行するかもしれないとの危機感があります。

インフルエンザウイルスはどうやって感染するの？



インフルエンザの予防接種には、発症を抑え、肺炎や脳炎などの重症化を防ぐ効果があります。ワクチンが効果を発揮するまでには約2週間かかり、約半年効果が期待できます。流行に備え、10～12月までに予防接種を済ませておく必要があります。

松山市内の小学校ではすでに9月中旬から集団発生報告がありました。10/23更新の愛媛県感染症情報では中予の発症はありませんが、八幡浜でA型10人発症しています。例年よりも**早めの接種をお勧めします。**

→松山市では、RSウイルスやA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発症も多くなっています。

感染症を防ぐ方法は、、、

- ①まなく洗う
- ②一を守る
- ③みんなで実行！！

*感染予防の基本ルールは手指衛生です。



医療保険もサポートします！！

訪問看護ステーションくるみは、事業所創設8年目を迎え、訪問経験豊富なスタッフも増え、性別・PT・OT…等、利用者様や担当ケアマネジャーの方々のニーズにも、幅広く対応できる努力をしています。また、医療保険対象の利用者様にも積極的に支援を行っています。当事業所で現在、**特定疾患13疾患**(介護保険対応の疾患含む)**20症例以上**の支援に入っています。ご存知の方も多いと思いますが、医療保険での支援の流れを簡単ではありますが、裏面に記載しています。不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。お電話お待ちしております。

玄関は
涼しき風の
通り道

夕日あび
元氣いっぱい
茄子の花

趣味を活かして

屋外活動！！

上の俳句は、リハビリ支援中の利用者様が作成したものです。

こちらの利用者様は、歩行練習を中心に支援に入っている方で、屋外に出る機会が少なかったのですが、支援に入り始めてから自主練習として、庭を歩く機会を作って頂けるようになりました。

ある日、利用者様が「俳句が出来た。」と話され、ノートを見せて頂くとぎっしり書かれた俳句!! その中には、外に出ないと浮かばないような俳句もたくさんあり、とてもびっくりしました。

自主練習を積極的に取り組まれている事への喜びは勿論ですが、それ以上に趣味を運動に活かそうとする姿勢は素敵なことだと思いました。QOLとADL(趣味=俳句、リハビリ=歩行練習)が繋がった嬉しい瞬間でした((´▽`))

< 医療保険給付対応になる場合 >

- ・ 認定自立(=介護保険非該当)の方
- ・ 40歳までの医療保険加入者
- ・ 40歳以上 65歳未満で、16 特定疾病以外の方
- ・ 介護保険の利用者でも「*末期の悪性腫瘍（特定疾患含む）等厚生労働大臣が定める疾病等」「急性増悪期等の方(特別指示期間)」の方は医療保険での対応になります。

現在、当事業所で医療保険にて支援している疾患

脊髄小脳変性症、パーキンソン病、重症筋無力症、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、大脳基底核変性症、多発性硬化症、頸髄損傷、末期の悪性腫瘍、人工呼吸器の使用の方等。

介護保険非該当の方→脳性麻痺、頭部外傷後遺症等。

※介護保険にて対応している特定疾患：肺動脈性肺高血圧症、HTLV-1 関連脊髄症、黄色靭帯骨化症、結節性多発動脈炎、封入体筋炎、後縦靭帯骨化症等

< 保険適応の流れ >

